

白神山地リーフレットづくりを通して、資料をもとに自分の考えを表現する力をつける授業。

第5学年1組 国語科学習指導案

指導者 川上 将伍

1. 単元名 考えよう白神山地の未来
2. 学習材 「世界遺産白神山地からの提言 意見文を書こう」(教育出版 ひろがる言葉 5年国語下)
「八千年の樫の森 大いなる生命の循環」 環境省
「白神山地マップ」 環境省
「白神山地Q&A」 世界遺産白神山地ブナ林モニタリング調査会

3. 単元について

(1) 本単元でつきたい力

本単元では、主に、小学校学習指導要領・国語〔第5学年及び第6学年〕の「B書くこと」「C読むこと」における以下の能力を身に付けさせることをねらいとしている。

B 書くこと

内容 ウ 目的や意図に応じて簡単に書いたり、詳しく書いたりするとともに事実と感想、意見を区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。

C 読むこと

内容 オ 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること。

言語活動例 ア 説明や解説などの文章を比較するなどして読み、分かったことや考えたことを、話し合ったり文章にまとめたりする活動。

本単元では、学習材「世界遺産白神山地からの提言」、「八千年の樫の森 大いなる生命の循環」、「白神山地マップ」、「白神山地Q&A」を読み、白神山地の良い点や問題点について調べる。そして、白神山地の良い点や問題点などを把握しながら、自分なりに考える白神山地のこれからについて「白神山地リーフレット」にまとめていく。

これらの学習を通して調べて得た情報をもとにしながら、自分の考えを表現する力を高めることをねらいとする。

(2) 単元の目標

【知識及び技能】

○「白神山地リーフレット」を出版するための資料を選択し、資料を基に考えることができる。

(2 (2) イ)・・・㊦

【思考力、判断力、表現力等】

○リーフレットという媒体を意識して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。

(2 B (1) ウ)・・・㊦

○「世界遺産白神山地からの提言」や「八千年の樫の森 大いなる生命の循環」、「白神山地マップ」、「白神山地Q&A」などを読み、自分の考えをまとめることができる。

(2 C (1) オ)・・・㊦

【学びに向かう力、人間性等】

○「白神山地リーフレット」を出版するための学習の見通しをもち、自分の学習進度に合わせながら学習を調整し、学習したことを基に粘り強く自分の考えを表現しようとしている。・・・㊦

(3) 指導観

〔見いだす〕

□本単元（本時等）の目標（めあて・ねらい）を児童に明示する。

①単元の目標を知り、学習の見通しをもつことで主体的に学習する態度を引き出す。

本単元の第1次では、教師が作成したモデルを提示し、子どもたちに「自分もつくってみたい」という意欲をもたせる。教師モデルにどのような工夫点があるか、子どもたちと分析し、「白神山地リーフレット」をつくるためにはどのようにしたらよいかを考え、学習計画と一緒に立案していく。その際、教師モデルは、タブレット（power point）でつくったものを印刷し子どもたちに配付する。教師モデルの構成については、子どもたちに思考の流れを明確にさせるために、1. 問題の定義、2. メリット、3. デメリット、4. 編集後記（自分の考え）とする。

また、子どもたち全員が同じタイミングでつくり始めことは考えられない。表紙をつくる子ども、構成を考える子ども、資料を選ぶ子どもなど様々な進度で学習を進めていくことが考えられる。だからこそ、子どもたちとつくった学習計画を教室に掲示することで、学習の見通しをもたせ主体的な学びにつなげていきたい。

〔自分で取り組む〕

□児童が自分の考えを形成したり、思いや考えを基に創造したりする時間を確保する。

②自分の思いや考えを表現し、「白神山地リーフレット」を作成する。

自分の思いや考えを表現するために①外部資料を取り寄せ活用する。「八千年の樺の森 大いなる生命の循環」・「白神山地マップ」を配付したり、世界遺産白神山地ブナ林モニタリング調査会から出されている「白神山地 Q&A」を活用したりする。またインターネットを活用し、白神山地について調べる時間も確保する。このように、白神山地に対するより多くの情報を得られるようにする。また映像教材なども活用し、白神山地を身近に感じ取れるようにしたい。より多くの情報を集めることでどの情報を活用していくか、子どもたちに選択場面を設けることもねらいとする。②白神山地リーフレットの作成をタブレット・手書きが選択できるようにする。タブレットでは、power point を活用し、リーフレットの型のみ事前に作成し子どもたちに配付する。手書きについても割り付け用紙などを用意し自分の考えを表現する手立てとしたい。それでも、「リーフレット」を作成することが難しい子どももいるだろう。そこで、子どもが興味・関心をもったことを聞くなど教師との対話や教師モデルを参考にするなどの手助けをしていきながら「白神山地リーフレット」の作成時間を十分に確保していく。

〔広げ深める〕

□児童が自分の考えを伝える場面を設定する。

③「白神山地リーフレット」を互いに読み合い、自分の思いや考えを交流することで考えを広める。

「白神山地リーフレット」が完成したら、ライティング・カンファレンスの手法を用い、意見や感想を交流する。ライティング・カンファレンスでは、質問を通して自分の「白神山地リーフレット」に対する思いや考えを語り、作品の良さや工夫した点を改めて実感させたい。また、同じ白神山地リーフレットを作成しても異なる考え方をする場合があるため、友達の考えを聞くことで、新たな考えに気づき、自分の考えを広めるきっかけにしたい。

〔まとめあげる〕

□児童が板書やノート、作品等を通して思考の過程を振り返り、学んだことをまとめる場面を設定する。

④国語日記を書き、学習について振り返る。

国語日記（わかったことや学習の中で工夫した点）を単元中に随時書かせるようにする。また、単元の最後には、①「白神山地リーフレット」をつくって、どんなことを思ったか。②この学習をする前と比べて変わったこと・ついた力は何ですか。」の2観点で振り返りを行う。そうすることで自分の活動を客観的に振り返り、自己肯定感を高めるとともにメタ認知能力を育成していきたい。

4. 全体指導計画（11時間扱い）

次	時	主な学習活動	○教師の支援 ☆評価（方法）
第一次	1	教師モデルと出会い、単元のゴールを知り、学習の見通しをもつ。 ・教師モデルを分析し、どのようなことが書かれているかを考え、学習計画をたてる。	○モデルを提示し、本単元のゴールを伝える。 ○教師モデルには、どのような内容が書かれているか子どもとの対話を通して考えさせる。 ○映像を見せ、白神山地への理解を深める。 ☆単元のゴールと見通しをもち、意欲的に取り組もうとしている。 (㊦発言・日記)
	2 3 4	白神山地について調べる。 ・教科書の着語読みを行う。 ・教科書の資料・学習材・映像教材・インターネットなど活用し、白神山地について調べる。	○着語読みで本文のおおまかな内容を捉えさせる。 ○教師モデルを分析したことをもとに調べていく内容について確認する。 ○八千年の樺の森 大いなる生命の循環, 「白神山地マップ」の2冊を子どもたちに配布する。 ○情報を集めることが難しい子どもには、教師との対話を通して考えさせる。 ☆自分の考えを表現するための資料を選択し、資料を基に考えることができる。(㊦発言・ノート)
第二次	5 6 7 8	「白神山地リーフレット」を作成する。 ・調べて得た情報を基にして、「白神山地リーフレット」作成し、自分の考えをまとめる。	○自力で書くことの難しい子どもには、教師モデルを見せたり、教師と対話をしたりしながら考えを整理していく。 ○タブレットで作成したい子どもには、powerpointを活用しリーフレットの型のみものを配布する。手書きで取り組む子どもには割り付け用紙などを用意する。 ☆自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。(㊦白神山地リーフレット・日記) ☆「世界遺産白神山地からの提言」や「八千年の樺の森 大いなる生命の循環」「白神山地マップ」「白神山地Q&A」を読み、自分の考えをまとめることができる。 (㊦白神山地リーフレット・日記)
	9	友達と作品を読み合い考えを交流する。 ・「白神山地リーフレット」を読み合い、自分の考えを伝える。 質問事項 ①自分の作ったものは何点ぐらい？ ②なんで？ ③特に工夫したところはどこ？ ④その工夫はうまくいった？	○カンファレンスの質問事項に沿って、自分の考えを伝えさせる。 ☆自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。(㊦白神山地リーフレット・日記)
第三次	10	学習のまとめ ①「白神山地リーフレット」をつくって、どんなことを思いましたか。②この学習をする前と比べて変わったこと・ついた力は何か。の2点の振り返りを行う。	○2観点で振り返らせることで、達成感や成就感を味わわせるとともに、自己の成長に気付かせる。 ☆単元全体の学習について振り返ろうとしている。 (㊦ノート・発言)

5. 本時の指導 (7/11)

(1) 目標 自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。

【思考力, 判断力, 表現力等】(2B(1)ウ)

(2) 展開

時配	学習活動と内容 ◎教師の発問・子どもの反応	◎教師の支援 ☆評価 (方法)
3	1. 前時までの学習を振り返り, 本時のめあてを確認する。 白神山地リーフレットをつくろう。	○迅速に学習問題について確認できるように学習計画を基に学習問題に導く。
35	2. 白神山地リーフレットを作成する。 【タブレットで作成】 power point を使用する。 【手書きで作成】 ①白紙 ②割り付け用紙を使用 ・この資料を使って自分の考えを表現しよう。 ・文字はこの大きさのほうがいいかな。 ・資料の位置は, どこにしようかな。	○教師モデルを振り返り, 思考の流れを確認する。 ○机間指導をし, 子どもたちが書いた内容を把握する。 ○学習が止まってしまっている子どもがいなか確認しながら机間指導をする。 ○なぜ学習が止まってしまっているかを見極めながら個々に支援していく。 ○個人で学習を進める時に困らないために教師モデルを配付しておく。 ○自力で考えることの難しい子どもには, 教師モデルを参考にしたり, 教師と対話したり, 調べたことを振り返ったりすることで作成を進める。 ○手書きで取り組む子ども用に割り付け用紙を用意し, 自由に取りに行けるようにする。 ○色々な種類の割り付け用紙を用意する。 ○タブレットで作成する子どもたちの効率をよりよくするために, ICT 支援員の先生にも助言を頂く。 ☆自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。 (㊟白神山地リーフレット)
7	3. 国語日記を書く。 ◎今日の学習どうだった? ・だんだん自分の考えがまとめられてきました。 ・どの資料を使おうかまだ迷っています。 ・もっと文字の大きさを工夫していくとわかりやすくなるかもしれない。	○机間指導をし, 子どもたちが書いた内容を把握する。 ○机間指導しながら, 自分の考えを書いている子どもを賞賛する。 (㊟ノート・発言)

